

岩手県建設業企業年金基金だより

(令和6年3月15日号)

●令和5年度決算見込み及び令和6年度事業計画、予算(案)等を承認

2月27日に開催しました第15回理事会・代議員会合同会議において、令和5年度決算見込み及び令和6年度事業計画並びに予算(案)等について可決・承認されました。

主な議案内容は次のとおりです。

1. 基金の状況(令和5年12月末現在)

	令和5年12月末	令和4年12月末
事業所数	78 事業所	79 事業所
加入者数	1,765 人	1,814 人
年金受給者数	13 人	13 人
一時金受給者数	135 人	122 人

2. 令和6年1月末現在の資産運用実績

区 分	総合収益額	修正総合 利回り	時価総額	構成割合	基本アセッ トミックス	乖離幅
国内債券	▲232 万円	▲2.14%	11,394 万円	42.5%	45%	▲2.5%
一般勘定	16 万円	0.21%	8,073 万円	30.1%	30%	+0.1%
国内株式	811 万円	29.72%	3,535 万円	13.2%	11%	+2.2%
外国債券	127 万円	12.00%	1,320 万円	4.9%	5%	▲0.1%
外国株式	512 万円	25.58%	2,515 万円	9.4%	9%	+0.4%
短期資産	0 万円	0.00%	2 万円	0.0%	0%	+0.0%
基金合計	1,235 万円	4.99%	26,839 万円	100.0%	100%	

3. 令和5年度の資産運用見通し(令和6年1月12日時点)

	主要指標	令和5年12月末 (実績値)	令和6年3月末 (予想値)	運用利回り 見通し
国内債券	日本10年国債利回り	0.62%	0.70%	+4.4%
国内株式	日経平均株価	33,464 円	35,000 円	
外国債券	米国10年国債利回り	3.88%	3.90%	
外国株式	NYダウ平均株価	37,690 <small>ドル</small>	38,000 <small>ドル</small>	
為 替	ドル/円	140.98 円	142 円	
	ユーロ/円	155.73 円	153 円	

4. 令和5年度決算見込み

令和5年12月末の基金の状況及び令和6年1月12日時点の運用利回り見通しを基に計算した決算見込みとなっています。

(1) 年金経理

損益計算書は、加入者の減少により掛金等収入が前年度に比べ減少の4,246万円、運用収益は運用利回り見通し+4.4%から1,079万円、一時金受給者や1件当たりの給付額の増加から給付費・移換金が前年度に比べ増加の1,966万円を見込んでいます。

貸借対照表は、年金資産を26,929万円、資産合計額は27,635万円、責任準備金を26,661万円と見込んでいます。

実質の剰余金にあたるリスク充足額は、好調な資産運用を反映して前年度から717万円増加の856万円を見込んでいます。

決算見込損益計算書【簡易版】

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(単位:万円)

費用勘定			収益勘定		
科目	決算見込額	前年度決算額	科目	決算見込額	前年度決算額
給付費・移換金	1,966	1,764	掛金等収入	4,246	4,394
運用報酬等	118	136	運用収益	1,079	0
運用損失	0	266			
責任準備金増加額	3,241	2,228			
合計	5,325	4,394	合計	5,325	4,394

※各金額はそれぞれで端数処理した数値を記載しているため、合計等が一致しない場合があります。

決算見込貸借対照表【簡易版】

(令和6年3月31日現在)

(単位:万円)

資産勘定			負債勘定		
科目	決算見込額	前年度決算額	科目	決算見込額	前年度決算額
流動資産	706	721	未払給付費等	974	1,049
年金資産	26,929	23,748	責任準備金	26,661	23,420
信託資産	18,980	16,666			
保険資産	7,949	7,082			
総合計	27,635	24,469	総合計	27,635	24,469

科目	決算見込額	前年度決算額	科目	決算見込額	前年度決算額
財政悪化リスク相当額	1,692	1,692	数理債務	25,805	23,281
リスク充足額	856	139	未償却過去勤務債務残高等	0	0

※各金額はそれぞれで端数処理した数値を記載しているため、合計等が一致しない場合があります。

(2) 業務経理業務会計

収益は、加入者の減少により事務費掛金収入が前年度に比べ減少の2,123万円を見込んでいます。

費用は、業務委託費等や固定資産の増加などにより前年度に比べ増加の1,798万円を見込んでおり、このことから当年度剰余金は325万円を見込んでいます。

決算見込損益計算書【簡易版】

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(単位:万円)

費用勘定			収益勘定		
科 目	決算見込額	前年度決算額	科 目	決算見込額	前年度決算額
事務費	804	784	事務費掛金収入	2,123	2,197
業務委託費等	922	883	雑収入	0	0
固定資産の増加	19	0			
代議員会費・雑支出	54	36			
当年度剰余金	325	494			
総合計	2,123	2,197	総合計	2,123	2,197

※各金額はそれぞれで端数処理した数値を記載しているため、合計等が一致しない場合があります。

決算見込貸借対照表【簡易版】

(令和6年3月31日現在)

(単位:万円)

資産勘定			負債勘定		
科 目	決算見込額	前年度決算額	科 目	決算見込額	前年度決算額
流動資産	3,821	3,443	流動負債	1,263	1,209
固定資産	37	19	基本金	37	19
			繰越剰余金	2,233	1,739
			当年度剰余金	325	494
総合計	3,858	3,461	総合計	3,858	3,461

※各金額はそれぞれで端数処理した数値を記載しているため、合計等が一致しない場合があります。

5. 令和6年度事業計画

(1) 事業運営の重点事項

①年金資産運用

市場リスクが顕在化していますが、信託銀行及び生命保険会社と連携しながら運用効率を図り、必要な収益の確保に努めます。

②未加入事業所への加入勧奨

勧奨方法等を創意工夫し、機会を捉えて新規加入事業所の獲得に取り組みます。

(2) 実施事業

①理事会・代議員の開催 2回(7月、2月)

②資産運用委員会の開催 2回(6月、1月)、状況に応じて随時開催

6. 令和6年度の年金資産運用基本方針

(1) 運用目的及び目標

給付金の支払いを将来にわたり確実に行うため、必要とされる収益の確保を目的とし、長期的運用目標は予定利率1%と運用報酬0.5%を合わせた1.5%としています。

(2) 経済見通し

金融引締めを進めてきた欧米は、高インフレや金融引締めの累積効果が遅効的に作用して低成長に留まると予想します。日本も個人消費の鈍化やコロナ禍からの経済活動の再開効果の剥落などが重石となり、低成長を予想します。

(令和6年1月12日時点)

	主要指標の見通し(令和7年3月末予想値)		期待収益率(令和6年度)	運用利回り 見通し +1.1%
国内債券	日本10年国債利回り	0.85% ~ 0.95%	0.2%	
国内株式	日経平均株価	34,000円 ~ 38,000円	5.1%	
外国債券	米国10年国債利回り	3.25% ~ 3.55%	1.4%	
外国株式	米S&P500	4,850 ㊦ ~ 5,350 ㊦	3.8%	
為替	ドル/円	132円 ~ 146円	-	
	ユーロ/円	139円 ~ 153円		

(3) 政策アセットミックスの検証

政策アセットミックスとは、運用目的を達成するため、投資対象資産の中長期的な期待収益率や標準偏差(リスク)等を考慮した最適な組み合わせとなる資産構成割合のことです。

政策アセットミックスを検証した結果、中長期的な運用目標である収益率1.5%以上を確保しており、標準偏差も大幅に増加していないことから、現状の政策アセットミックスを維持します。

	期待収益率	標準偏差	中心値	許容範囲
国内債券	0.3%	1.9%	45%	40% ~ 50%
一般勘定	0.3%	0.0%	30%	25% ~ 35%
国内株式	6.6%	16.8%	11%	6% ~ 16%
外国債券	2.3%	8.6%	5%	0% ~ 10%
外国株式	7.1%	18.7%	9%	4% ~ 14%
合計	1.69%	3.55%	100%	

※期待収益率は、三井住友信託銀行が予想する向こう5年程度収益率です。

7. 令和6年度予算(案)

(1) 基礎数値

加入者数	年間平均加入者数を1,765人
年金受給者数	14人
一時金受給者数	167人
資産運用利回り	運用利回り見通し+1.1%

(2) 年金経理

基礎数値を基に算出すると、収益は掛金等収入が4,236万円。運用利回り見通しの+1.1%から計算した運用収益は309万円を見込んでいます。

費用は給付費・移換金を2,094万円と見込んでおり、実質の剰余金にあたるリスク充足額は765万円と決算見込額より91万円の減少を見込んでいます。

予定損益計算書【簡易版】

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位:万円)

費用勘定			収益勘定		
科 目	令和6年度 推計額	令和5年度 決算見込額	科 目	令和6年度 推計額	令和5年度 決算見込額
給付費・移換金	2,094	1,966	掛金等収入	4,236	4,246
運用報酬等	132	118	運用収益	309	1,079
責任準備金増加額	2,319	3,241			
総合計	4,545	5,325	総合計	4,545	5,325

※各金額はそれぞれで端数処理した数値を記載しているため、合計等が一致しない場合があります。

予定貸借対照表【簡易版】

(令和7年3月31日現在)

(単位:万円)

資産勘定			負債勘定		
科 目	令和6年度 推計額	令和5年度 決算見込額	科 目	令和6年度 推計額	令和5年度 決算見込額
流動資産	706	706	未払給付費	1,034	974
年金資産	29,308	26,929	責任準備金	28,980	26,661
信託資産	20,295	18,980			
保険資産	9,013	7,949			
総合計	30,014	27,635	総合計	30,014	27,635

科 目	令和6年度 推計額	令和5年度 決算見込額	科 目	令和6年度 推計額	令和5年度 決算見込額
財政悪化リスク相当額	1,692	1,692	数理債務	28,215	25,805
リスク充足額	765	856	未償却過去勤務債務残高等	0	0

※各金額はそれぞれで端数処理した数値を記載しているため、合計等が一致しない場合があります。

(3) 業務経理業務会計

基礎数値を基に算出すると、収益は事務費掛金収入を2,118万円、費用は事務費などの増加を見込み決算見込額に比べて増額の1,920万円の予算を作成しています。

当年度剰余金は198万円を見込んでいます。

予定損益計算書【簡易版】

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位:万円)

費用勘定			収益勘定		
科 目	令和6年度 推計額	令和5年度 決算見込額	科 目	令和6年度 推計額	令和5年度 決算見込額
事務費	913	804	事務費掛金収入	2,118	2,123
業務委託費等	944	922	雑収入	0	0
固定資産の増加	0	19			
代議員会費・雑支出	63	54			
当年度剰余金	198	325			
総合計	2,118	2,123	総合計	2,118	2,123

※各金額はそれぞれで端数処理した数値を記載しているため、合計等が一致しない場合があります。

予定貸借対照表【簡易版】

(令和7年3月31日現在)

(単位:万円)

資産勘定			負債勘定		
科 目	令和6年度 推計額	令和5年度 決算見込額	科 目	令和6年度 推計額	令和5年度 決算見込額
流動資産	4,090	3,821	流動負債	1,333	1,263
固定資産	37	37	基本金	37	37
			繰越剰余金	2,558	2,233
			当年度剰余金	198	325
総合計	4,127	3,858	総合計	4,127	3,858

※各金額はそれぞれで端数処理した数値を記載しているため、合計等が一致しない場合があります。

● iDeCo(個人型確定拠出年金)に加入している方へ

確定拠出年金法の改正により、令和6年12月から当基金に加入している方が、iDeCoにも加入している場合、iDeCoの掛金上限額が月2万円まで拡大されます。

	令和6年11月まで	令和6年12月～
掛金の範囲	月5,000円～月12,000円	月5,000円～月20,000円